

調査4 今後の景気対策等についての主な意見・要望

- コロナの影響が長期化すると会社の存続に関わる。6月から売上が激減している。(製造業)
- コロナの影響でアパレル業界は壊滅状態。先行きは不透明。(製造業)
- 5月から受注の減少が始まり、コロナの影響がどの程度か予測困難なため1年分の資金調達したい。(製造業)
- 業界全体の仕事量がかなり減っている。資金調達のアドバイスを願う。(建設業)
- 政府の補助事業の実施による税金の増税等が心配。(建設業)
- 建設業全体がかなり仕事が減少。先が見えない。(建設業)
- 所有物件が古く、多額の費用をかけて建物管理をすべきかが課題。(不動産業)
- 予測不能な状況も考慮に入れて対策を講じることが必要。(不動産業)
- 患者減少による経営悪化が深刻で生活を切り詰めている。来年以降は自信がない。(整骨院)
- 消費税・固定資産税・事業税の一時的な引き下げをしてほしい。(サービス業)
- 見通しが立たないので不安。(サービス業)
- 先が見えない。コロナ禍では行動する勇気がある。(サービス業)
- 密を避けるため予約制限を行っているので前年比90%が限界。(美容業)
- 業種的に休業やテレワークもできない。リスクの高い業種にも支援をしてほしい。(保育業)
- 新規客が多かった。クラスター発生で風評被害があった場合不安である。(理容業)
- 医療機関の医療機器のメンテナンスが延期になったが6月に入ってから持ち直してきている。コロナによる景気後退は修理・メンテナンス業には追い風になる。(サービス業)
- 一人の感染者が出たら仕事の継続は難しくなる。(サービス業)
- 得意先が9月一杯まで閉鎖なので売上ダウンが見込まれる。(卸売業)
- コロナ対策で過剰な反応をしている人が目につく。原因はコロナである。対策の見直しが必要。(飲食業)
- 3~4月は近隣の工事現場関係者の来店があり売上減少は少なくて済んだが、6月が厳しい。(飲食業)
- 先が見えないのが不安。(飲食業)

- コロナ終息までの事業継続可能な給付を期待する。終息しない限り景気は回復しない。(飲食業)
- 全く見通しが立たず。(小売業)
- 三密防止のための具体提案が多いが資金面で厳しいものが多い。(小売業)
- 運送業は営業ストップはできない業種の為、行政によるマスク等の支給をしてほしかった。(運輸業)